

1	指定管理者名	特定非営利活動法人ワーカーズコープ
2	指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日(5年間)
3	業務の範囲	1 児童館の事業の実施に関すること。 2 児童館の維持管理に関すること。 3 目的外使用許可にかかる事務に関すること。 4 児童館運営委員会の設置、運営管理に関すること。 5 事業評価に関すること。

4. 採点表											
評価項目		細目		配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等		得点	
1	運営・利用状況 (40点)	(1)利用状況 (10点)	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)	10	平均値比(注) 105%以上:10点、 105%未満～95%:8点、 95%未満～85%:6点、 85%未満:4～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用率を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用率の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用率の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用率) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用率実績に所要の調整をして算出した値		開館時間中(4月～9月10:00～17:00、10月～3月10:00～18:00)は、自由来館としている。 ※新型コロナウイルス感染症対策として消毒時間(4月～9月13:00～14:00、17:00～18:00、10月～3月13:00～14:00)を設けているため、13:00～14:00は児童館利用をご遠慮いただいている。 ・8/23～9/30 臨時休館 ・1/21～3/21 自由来館のみとし、全ての事業を中止。		-	
		(2)利用人数		平均値比(注) 105%以上:10点、 105%未満～95%:8点、 95%未満～85%:6点、 85%未満:4～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用人数を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用人数の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用人数の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用人数) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用人数実績に所要の調整をして算出した値		・コロナ対応2年目となったが、来館者数は前年度より増加した。 ・小学校自体の児童数が少ない地域であるが、登録カードの提出率は小学校全体の9割にのぼっている。 ・仕事復帰による保育園入所や離れた幼稚園への通園が増え、乳幼児親子の自由来館やクラブの利用が減少。 【令和3年度】来館者数 13,882人 乳幼児1,291人 小学生9,968人 中高生798人 大人1,825人 【令和2年度】来館者数 8,468人 乳幼児1,544人 小学生4,754人 中高生461人 大人1,709人 【平成31・令和元年度】来館者数 14,569人 乳幼児2,893人 小学生7,901人 中高生451人 大人3,324人 【30年度】来館者数 16,144人 乳幼児3,404人 小学生8,951人 中高生386人 大人3,403人 【29年度】来館者数 18,631人 乳幼児4,202人 小学生10,200人 中高生305人 大人4,673人 【28年度】来館者数 20,820人 乳幼児5,760人 小学生10,082人 中高生399人 大人3,830人 ※来館者数と事業参加者は異なる数え方をしています。	8点			
					平均値比(上記(1)適用) ※今回は指定管理1年目の評価のため、本来は上記(1)を適用する。 88%≒利用人数(延べ人数 13,882人)÷15,726人 新型コロナウイルス対応一律8点(令和2年度と同様)						
		(2)市の事業の企画・運営・実施状況 (仕様書内)(15点)	15	仕様書以上:15～12点、 仕様書に忠実:11～9点、 仕様書の一部不実施(軽微):8～7点、 仕様書の一部不実施(中程度):6～3点、 それ以下:2～0点	・乳幼児と保護者を対象とした事業(計43回開催、延べ362名参加) ・児童を対象とした事業(計57回開催、延べ1,205名参加) ・地域交流事業、多世代間交流事業(計2回開催、延べ291名参加) ・中高生対象事業(計5回開催、延べ38名参加) ・子育て相談事業と子育てネットワークづくりの推進(計18回開催、延べ50名参加) ※別紙:事業評価表 参照	仕様書以上 14点	・コロナ禍で休館期間等があった中で、指定回数以上、さらに前年度回数以上の実施ができた。 ・コロナ禍の中で、親子、地域の触れ合いを大切にし、できることを工夫して実施した。	14点			
		(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)	15	内容・事業数等が 期待以上:15～12点 例年通り:11～9点、 例年よりやや劣る:8～7点、 例年より劣る:6～3点 例年よりかなり劣る 2～0点	・乳幼児と保護者を対象とした事業(計37回開催、延べ274名参加) ・児童を対象とした事業(計42回開催、延べ476名参加) ・地域交流事業、多世代間交流事業(計45回開催、延べ1,102名参加) ・中高生対象事業(計12回開催、延べ41名参加) ・子育て相談事業と子育てネットワークづくりの推進(計1回開催、延べ4名参加) ※別紙:事業評価表 参照	期待以上 13点	・新しい取り組みや他館との共催、地域との連携事業、入園準備企画や季節に合わせた製作等工夫に努めている。 ・新型コロナウイルスの影響により、9,1,2,3月の事業と地域イベント等が中止となり実施できなかったが、順延開催や内容を変更しできる限りの努力をしている。	13点			

評価項目		細目		配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等	得点
2	施設管理状況 (25点)	(1)施設管理業務の実施状況 (10点)	①清掃	10	①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する 適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点 ②5項目の合計点とする。 ※駐車場は、期待以上:8点、適正(普通):6点、一部不備あり:4点、不備あり2点	屋内・トイレの清掃:毎日 ガラス・備品の清掃:週1〜2回 照明器具の清掃:随時 館庭の清掃:毎朝の定期清掃(雨天を除く)、日常清掃を実施。 駐車場を含め児童館周辺の側道まで、こま目に様子を見て清掃している。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	10点
			②保守・点検			電気工作物、運動遊具の保守点検は委託により実施。パソコンは随時点検。砂場の砂補充。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			③保安・警備			非常通報装置・消防用設備については、警備会社に委託により実施。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			④小規模修繕			・廊下の手すり修理 ・バスケットゴール修理 ・非常誘導灯電気交換 以上については、10万円未満であったため、仕様書の定めにより、指定管理者の負担で修繕を行った。	適正(普通) 2点	修繕箇所が発生した場合は、遅滞なく対応がされている。	
			⑤危険箇所の把握 (施設の瑕疵)			毎月の定期点検により危険箇所の有無について確認。また、学校や民生児童委員、交通安全協会等と連携し、最新情報の共有をしている。 近隣の空き地や駐車場・横断歩道等、使い方について日頃より伝えている。 館内にハザードマップを掲示している。	適正(普通) 2点	日常の業務の中で、危険箇所を把握し、適正に対応されている。	
	施設管理状況 (25点)	(2)その他管理業務の実施状況 (15点)	①文書管理	15	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する 期待以上:3点、適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。	文書目録を作成し、重要書類はすべて、鍵のついたスチール棚に保管。	適正(普通) 2点	文書目録を作成し、それに基づき適正に管理されている。	10点
			②環境への配慮			「節電・節水に努める」 利用者のいる部屋のみ照明をつける、使用していない電化製品のプラグは抜く、空気清浄機は閉館後タイマーをセット、冷房の設定温度を28度に設定、夏は高窓を開け風通しを良くする、冬は床にマットを敷くなど、季節に合わせた環境設定でエネルギーの浪費を抑えている。 「廃材や消耗品の再利用」 紙はリサイクル紙を利用し、関係機関への連絡はメールを利用している。 小学生クラブにおいて、定期的に公園の掃除を行っている。 工作ではトイレトペーパーの芯や古新聞等の廃材を積極的に使用している。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			③バリアフリー			廊下の障害物を撤去し、スペースを確保している。 卓球台の転倒防止の為、ベルトを付けている。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			④備品管理			備品台帳の原本は子ども支援課で保管。コピーを適正に管理している。年1回照合。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			⑤個人情報保護			特定非営利活動法人ワーカーズコープとして『個人情報保護規定』を作成し、情報は施錠保管の上管理している。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			⑥事故等への対応	0	事故等への対応は減点対象とする 事故なし及び事故等の対応に不備なし:0点、事故等の対応に不備あり:△1点	5月に1件。閉館後、保護者が迎えに来て立話をしている間に、小4男児が玄関外スロープの手すりで、鉄棒の様に足掛けして回った際、スロープ床面のタイルの角で後頭部を打ち、2ヶ所を縫う怪我をした。出血が多く、救急搬送となった。 手すりに注意喚起の看板を設置し、口頭でも注意を促している。	事故なし・対応に不備なし 0点	ワーカーズコープとして保険に加入している。	0点
3	当該施設の経営状況 (-点)	①事業収支			施設の特性から評価対象外の項目	(参考)収入 11,445,386円 ÷ 支出 11,010,422円 ≒ 104% 収支状況が必ずしも管理運営状況を反映するのではないため、評価対象外とする。 (令和3年度から)			

評価項目		細目		配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等		得点
4	より良い施設運営のための取組 (35点)	(1)市民・利用者の声の反映 (20点)	①ニーズの把握・事業への反映	15	期待以上:15～12点、 適正(普通):11～9点、 普通未満～物足りない:8～0点	・窓口意見箱を設置するとともにクラブ終了時や、行事開催後などにアンケートを実施し、乳幼児クラブでは館内だけでなく、館外へ出る企画をJMスタッフでは意見を反映したまつりの開催を行った。 ・新型コロナの影響で様々なイベント、学校行事が中止になった子どもたちの為に、スポーツ大会を開催し、老若男女が楽しめるイベントを開催した。 ・中高生会議など、感想・意見を聞く場を設け、中高生になっても過ごしやすい児童センターを目指した。 ・学校、幼稚園の休暇や行事を考慮した事業日設定をしている。(小学校振替休日は、児童センターが利用できるように開館する等) ・アンケートの結果、運営委員会の話し合いをもとに、新企画を実施した。	期待以上 12点	・定期的なアンケートの実施や、利用者の意見を聞く機会を設け、事業に反映させている。 ・独自に利用者のニーズを聞く機会を設けている。	12点	
			②苦情対応	5	期待以上:5点、 適正(普通):4点、 不備あり:3～1点 ※苦情なしは5点とする	苦情なし。	期待以上・苦情なし 5点	ワーカーズコープとして、苦情解決第三者委員を設置している。	5点	
		(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1～3の評価に反映されないその他の成果ポイント (15点)		15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が期待以上:15～12点、 適正(普通):11～9点、 普通未満～物足りない:8～0点	・脇之島小学校の全校児童数は207人と少ないが、その中の9割が登録カードを提出している。 ・地元の関係団体におたよりやチラシの配布、掲示を積極的に依頼し、利用促進に努めた。 ・施設管理に一番重要な人員確保の為に、常時勤務する以外の臨時有資格者を登録し、大きな事業や学校休業日・長期休暇中など来館者の多い場合や急な職員の欠勤に対応できるようにした。 ・NPO法人ワーカーズコープでは、『全国子ども・子育てケアプロジェクト』を組織し、子育て・子育て・障がい児支援の大規模な研究交流を行っている。 毎月「全国子育てWEBミーティング」10月23日「全国子ども子育てケアプロジェクト会議」2月18日～19日「全国子育てフォーラム」(オンライン) ・11/13～14「実践交流集会」子育ての中で体験する事の重要性を実践報告と共に学習した。 ・2/27～28「全国事業推進会議」子育て分科会のほか、年間全国規模の研究交流会を計8回開催。(オンライン)・東海事業本部においても「東海事業本部子育てPJ会議」毎月開催。(オンライン) ・愛知岐阜静岡エリアブロックにおいて研究交流会および経理研修を計6回開催した。(オンライン) ・法人内児童館職員全員参加研修を毎月第2月曜日を基本に開催した。(新型コロナ対策・次亜塩素酸水活用法・密を避ける遊びの工夫・公共を担う仕事・熱中症予防健康管理・SDGs・児童館ガイドライン・リスクマネジメント・子どもの権利・ぎふ木育・など専門性を高める研修) ・下記他団体の研修会に参加し、未参加者へは伝達研修を行った。 【主催:岐阜県児童館連絡協議会】・12/16館長研修会「コロナ禍の児童館運営について」児童健全育成推進財団理事長 鈴木一光先生 ・11/12東濃ブロック児童厚生員研修会「個別支援のあり方」児童心理療育施設桜学館施設長 児玉俊郎先生・11/18東濃地区児童館職員等研修会「コロナに対応した運動あそび」ルーデンスジャパン 山田恭平先生 「児童発達理論」岐阜聖徳学院大学 高村和代先生 「虐待講話」東濃子ども相談センター 小池智明先生	期待以上 13点	・地域行事や会議への職員の参加や、地域との積極的な連携を行っている。 ・全国組織である点を活かし、様々な研修に参加し、それを共有することで職員の資質向上に努めた。	13点	
5	その他 (減点方式)	(1)報告書類の提出状況		0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする(遅れ・不備内容の程度により△1～△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、一部遅れ・不備あり(中程度):△2、一部遅れ・不備あり(それ以下):△3	提出書類の遅れなし。		適正に実施されている。	0点	
		(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等		0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1～△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、対応等が期待以下(軽微):△1、対応等が期待以下(中程度):△2、対応等が期待以下(それ以下):△3	指示は特になし。		適正に実施されている。	0点	
合計				100	【4段階評価】 極めて良好100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討44点以下				85点	極めて良好
									全体的な評価 ・極めて良好な管理が行われている。 ・コロナ禍の中でもできることを、利用者の声を聴きながら工夫し、企画実施でき、実施回数も参加人数も増加した。	